



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社VRAIN Solution 上場取引所 東  
 コード番号 135A URL https://vrain.co.jp/  
 代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 南場 勇佑  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 コーポレート部部长 （氏名） 菊地 佳宏 （TEL）03-6280-4915  
 半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	808	—	189	—	189	—	126	—
2024年2月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	12.48	12.25
2024年2月期中間期	—	—

2024年2月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2024年2月期中間期の数値及び対前年中間期増減率、2025年2月期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	1,421	1,123	79.0
2024年2月期	1,449	997	68.8

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 1,123百万円 2024年2月期 997百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,115	49.9	771	51.8	771	55.5	534	62.0	52.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	10,110,000株	2024年2月期	10,110,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	－株	2024年2月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	10,110,000株	2024年2月期中間期	－株

(注) 当社は、2024年2月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、「モノづくりのあり方を変え、世界を変えていく」ことをミッションに掲げ、製造業界向けに、AI技術及びIoT技術等の新しい技術を活用したサービスを提供しております。

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善に伴い、緩やかに回復の動きが見られました。しかしながら、海外景気の下振れがわが国景気を下押しするリスクや不安定な世界情勢の長期化等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社がサービスを提供する製造業界においては、急激な為替変動等により景況感の停滞が見られる一方で、依然として企業の設備投資意欲は底堅く、少子高齢化や人口減少を背景とした将来の労働生産性の確保に向けた既存システムの刷新やDXの推進によるIT投資の動きが見られます。

このような経営環境の中、当社は、製造業の品質検査における労働集約型の作業や従来の製品に代わる手段として、AIを活用した画像検査システム「Phoenix Vision/Eye」の提供及び製造業の生産工程における自動化を推進するDXコンサルティングサービスを提供しております。

当中間会計期間において、導入実績のある業界の同業他社からの受注獲得や、既存顧客のリピート販売では、複数ラインの一括導入が進む等、事業は順調に拡大しております。また、将来の更なる成長に向けた基盤を作るために、営業体制の強化を中心とした採用活動を積極的に行っております。

この結果、累計取引社数が197社となり、当中間会計期間においては、売上高808,878千円、営業利益189,937千円、経常利益189,817千円、中間純利益126,213千円となりました。当中間会計期間末の受注残高は、376,547千円となります。

なお、当社は、製造業DX事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ28,152千円減少し、1,421,749千円となりました。これは主に、現金及び預金が287,948千円減少及び売上債権が109,139千円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当中間会計期間末における負債合計につきましては、前事業年度末に比べ154,365千円減少し、298,495千円となりました。これは主に、未払法人税等及び契約負債がそれぞれ112,381千円及び40,886千円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計につきましては、前事業年度末に比べ、126,213千円増加し、1,123,253千円となりました。これは中間純利益を126,213千円計上したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べ287,948千円減少した結果、674,155千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは231,402千円の支出となりました。これは主に、売上債権の増加109,139千円及び法人税等の支払額161,245千円を支出したこと等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは32,633千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23,070千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは23,913千円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出23,913千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年4月15日付「2024年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。業績予想値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	962,104	674,155
売掛金及び契約資産	292,989	402,128
商品及び製品	—	2,571
仕掛品	838	7,460
原材料	59,074	102,760
その他	22,922	99,822
流動資産合計	1,337,928	1,288,899
固定資産		
有形固定資産	42,954	57,666
無形固定資産	—	1,170
投資その他の資産	69,018	74,014
固定資産合計	111,973	132,850
資産合計	1,449,901	1,421,749
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,202	7,413
契約負債	53,860	12,973
未払法人税等	173,358	60,976
1年内返済予定の長期借入金	46,751	31,098
その他	155,749	172,353
流動負債合計	430,920	284,815
固定負債		
長期借入金	21,940	13,680
固定負債合計	21,940	13,680
負債合計	452,860	298,495
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	298,734	10,000
資本剰余金	288,834	577,568
利益剰余金	409,472	535,685
株主資本合計	997,040	1,123,253
純資産合計	997,040	1,123,253
負債純資産合計	1,449,901	1,421,749

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)	
当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	
売上高	808,878
売上原価	193,948
売上総利益	614,930
販売費及び一般管理費	424,992
営業利益	189,937
営業外収益	
受取利息	57
雑収入	145
助成金収入	100
営業外収益合計	303
営業外費用	
支払利息	298
為替差損	125
営業外費用合計	423
経常利益	189,817
税引前中間純利益	189,817
法人税、住民税及び事業税	61,222
法人税等調整額	2,381
法人税等合計	63,604
中間純利益	126,213

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前中間純利益	189,817
減価償却費	8,359
受取利息及び受取配当金	△57
支払利息	298
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△109,139
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△52,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,211
契約負債の増減額 (△は減少)	△40,886
その他	△71,638
小計	△69,916
利息及び配当金の受取額	57
利息の支払額	△298
法人税等の支払額	△161,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	△231,402
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△23,070
無形固定資産の取得による支出	△1,170
敷金の差入による支出	△8,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,633
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△23,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△287,948
現金及び現金同等物の期首残高	962,104
現金及び現金同等物の中間期末残高	674,155

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月29日開催の第4回定時株主総会決議に基づき、2024年7月1日付で減資の効力が発生し、当中間会計期間において資本金を288,734千円減少し、その全額をその他資本剰余金へ振り替えました。

この結果、当中間会計期間において資本金が10,000千円、資本剰余金が577,568千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、製造業DX事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。